

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.223
2023.3.21

特集

- ①ロバート・キサラ学長再任
- ②活躍する南山大生



NANZAN
UNIVERSITY

ロバート・キサラ学長再任

任期 2023年4月1日～2026年3月31日(3年間)

学長

人文学部 教授

Robert Kisala

ロバート・キサラ

専攻分野：宗教学

長期研究テーマ：現代宗教と社会

1957年生まれ。アメリカ合衆国(シカゴ市)出身。Divine Word College数学科卒業後、Catholic Theological Union大学院神学研究科、東京大学大学院人文科学研究科修士課程および博士課程を修了し、M.A.Theology、文学修士、博士(文学)を取得。1985年、司祭叙階。1995年より南山大学で教鞭を執る。2020年4月、南山大学長に就任。神言修道会日本管区長、総顧問、副総会長などカトリックの各種要職を歴任。趣味は野球観戦(中日ドラゴンズファン)と切手収集。好きなものは温泉と手羽先。



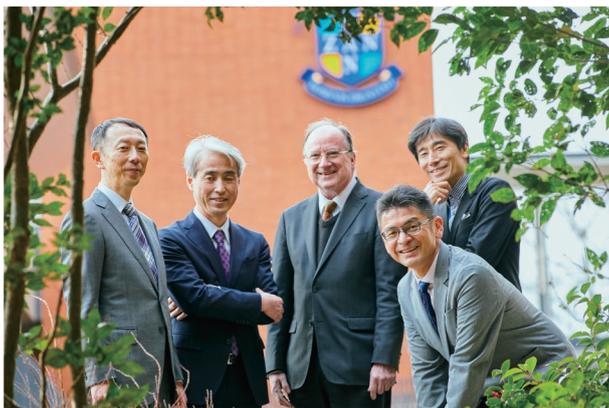
学長からのメッセージ

このたび、2020年度から務めてきた学長職に再任され、新しいスタートを切ることになりました。過去3年間はコロナ禍の陰に隠れていて、すべてのいのちを守るために、最善の対応を摸索しながら、何とか大学運営を継続することができました。これは皆さまの並々ならぬ努力と貢献のお陰ですので、深く感謝しています。かねて私たちは、小さな一步一步でも、平常の生活に戻りつつありますが、今入ろうとしている新任期の課題はまず、ポスト・コロナの大学像を皆さまと一緒に描くことだと確信しています。

昨年度、ヤンセン国際寮の開寮と南山大学「人間の尊厳賞」の設置を通して、コロナ禍の中でも、本学のアイデンティティである国際性と教育モットー、「人間の尊厳のために」を促進するための大きな前進ができたことを何よりも感謝しています。あわせて、今年度ライネルス中央図書館が誕生しますが、過去の実績を踏まえてこれからも、大学の更なる発展に努めてまいります。



この新任期のスタートに当たり、4名の副学長の力を借りて、精一杯この新しい挑戦に立ち向かいたいと思います。どうか、引き続き皆さまのご協力とご支援を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。



次期副学長も決定

任期 2023年4月1日～2026年3月31日(3年間)

総務担当・将来構想担当	総合政策学部 教授	星野 昌裕
学務担当	法学部 教授	岡田 悦典
研究推進担当・教育支援担当	人文学部 教授・ 社会倫理研究所第一種研究員	奥田 太郎
グローバル化推進担当	国際教養学部 教授	山岸 敬和

次回6月号にて改めて紹介いたします。



バドミントン部女子
高橋 咲妃さん
経営学部 経営学科3年

第62回西日本学生
バドミントン選手権大会
ダブルス ベスト32 (全国大会出場)

第71回中部大会・
第70回中部学生
バドミントン選手権大会
シングルス 5位 (全国大会出場)

バドミントンでの 1番の思い出

高校時の個人インターハイ予選。今までの試合で1番自身自身が自信を持ってきた試合だから。



全国大会にも出場経験のある、経営学部経営学科3年の高橋咲妃さんがバドミントンを始めたきっかけは、小学1年生の時。クラブチームでバドミントンをやっていた姉の付き添いがきっかけでした。本学のバドミントン部では10月まで主将を務めていた高橋さん。所属中は月・水・土と練習に励み、4月に東海リーグ、6月に中部学生大会、9月に西日本学生大会、10月に全日本学生大会などに出場していました。

高橋さんにプレー中に気を付けていることを聞いてみたところ「ダブルスをする際はペアとの役割の把握を意識していました。基本は後衛に回り、上からのショットに緩急をつけ、前衛のプレー展開が上手くいくよう考えて打ち込むようにしていました。シングルスでは相手の嫌がることを意識してプレーしていました。相手の得意球や決め球を見つけ、予測して取りに行くことでメンタル面で優位に立ったり、苦手なプレーを見つけ、自分の決めたいショットに持ち込めるように配球を考えたりと頭を常に使いながらプレーをしていました。」と話してくれました。

最後に高橋さんは「何か一つを自分が納得いくまでやり遂げることの大切さ、目標を持ってやり遂げようとする事実を大切にしてほしい。」と伝えてくれました。



野外宗教劇主幹
田所 晶衣さん
人文学部 キリスト教学科3年

「受難」で1番好きな場面

「ゲッセマネの祈り」この場面では迫り来る運命、受難の前に、神に祈りを捧げるイエスが主に描かれ、心に残るたくさん要素があります。イエスを演じた自分にとっても特に印象深い場面です。



野外宗教劇「受難」は、イエス・キリストの十字架での死、復活、そしてそれらに至るまでの苦しみと栄光に満ちた道のりを描いた野外劇であり、1963年に南山大学の学生が始めて以来、野外宗教劇の部員たちによって代々受け継がれている、半世紀以上の歴史を持つ南山大学の伝統行事です。その野外宗教劇主幹を務めているのが、人文学部キリスト教学科3年の田所晶衣さん。普段の活動内容は、毎年10月に開催される公演に向けて、「受難」の土台となる脚本の執筆、音響の制作、演技の指導、パンフレット・ポスター制作・SNS等の宣伝、衣装の管理など部員と力を合わせ行っています。

田所さんにイエスを演じるうえでの苦勞を聞いたところ「セリフを覚えることにも苦労しましたが、何より大変だったことは、神であり人であるイエス・キリストの演技を実現することです。イエスの神らしさと人間らしさの表現という問題に最初は正解が全く分からず苦労しました。先輩方の細かく丁寧な演技指導や部員たちのアドバイスで大変ながらも楽しく演じることができました。」と話してくれました。

最後に田所さんは野外宗教劇を通して「多種多様な経験がみんなで作品を作ることの楽しさを教えてくれました。作品の内容だけでなく、誰かと一緒に一つの作品を作り上げることの楽しさを伝えられたら幸いです。」と話してくれました。



学部・学科別志願者数・合格者数推移

2023年度入試

Table with columns for Faculty, Department, and Test Type (General, Unified, Common Test). Rows include Humanities, Foreign Languages, Economics, Business, Law, Engineering, and International Education.

※共通テスト利用入試[後期]の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」にてご確認ください。https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/

2022年度入試

Table with columns for Faculty, Department, and Test Type (General, Unified, Common Test). Rows include Humanities, Foreign Languages, Economics, Business, Law, Engineering, and International Education.

主要3入試（共通テスト利用入試[後期]除く）の志願状況

2023年度入試の志願者数は、一般入試が9,452人、全学統一入試は[個別学力試験型]が5,191人、[共通テスト併用型]が2,887人、共通テスト利用入試は[前期3教科型]が2,433人、[前期5教科型]が1,968人、主要3入試（共通テスト利用入試[後期]除く）の合計では21,931人（昨年度比95%）となりました。

2023年度入試の概況

新型コロナウイルス感染症拡大が続いている中、南山大学では全学統一入試および一般入試において新型コロナウイルス感染症に罹患したなどの理由により欠席せざるを得なかった方を対象に「特例措置」を設定しました。試験当日、試験室の換気や受験生へのマスク着用をお願いなど新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じた上で、全学統一入試および一般入試ともに試験は行われ、無事に終了いたしました。

合格発表

合格発表は2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書（入手続書類を含む）を送付する形で行いました。今年度の合格者数は、一般入試が3,859人、全学統一入試は[個別学力試験型]が1,823人、[共通テスト併用型]が1,391人、共通テスト利用入試は[前期3教科型]が1,545人、[前期5教科型]が1,208人でした。

2023年度入試 都道府県別志願者数・合格者数 2023年2月20日合格発表分

Table showing applicant and合格 counts by prefecture for the 2023 exam. Columns include Prefecture, Applicants, and Qualified.

※高等学校卒業程度認定試験・外国の学校等・文部科学大臣の指定した者・認定・在外教育施設・専修学校の高等課程を指します。



北村 雅則 (きたむら まさのり) 国際教養学部 国際教養学科 准教授 専攻分野: 日本語学、異文化コミュニケーション、教育学

異言語・異文化の中でのコミュニケーション

私の研究分野は異文化コミュニケーションです。異文化コミュニケーションといっても研究対象や手法はさまざまですが、「言葉が通じない相手とどのようにコミュニケーションするか」に興味を持っています。海外の人と話をするとき、言いたいことが言えなくて困った経験がありません。しかし、語学力の向上だけが異文化におけるコミュニケーションの秘訣でしょうか。そういった風潮に疑問を持っていたとき、海外でプレーする日本人サッカー選手たちに出会いました。彼らは英語も通じにくい環境の中、サッ

カーという共通項だけを頼りに監督やチームメイトとコミュニケーションをしていました。彼らを研究対象として、言葉が通じない環境にどのように適応していくのかをインタビューし、それを質的に分析すると、「サッカーで結果を残す」、「彼らとの違いを認識し尊重する」、「自分の主張をわかってもらうまで繰り返す」など彼らなりの工夫が垣間見えました。彼らが身を置くのは特殊な環境であるとはいえ、私たちにとっても示唆に富む工夫です。コミュニケーションのあり方に正解はありませんが、彼らの行動からより良いコミュニケーションの一端を掴みたいと考えています。



▲ 著書表紙 ▲ 研究協力者とともに



橋本 広大 (はしもと こうだい) 法学部 法律学科 准教授 専攻分野: 刑法 研究テーマ: 処罰の早期化、犯罪収益規制、国際組織犯罪の刑事規制

唯一の正解のない問題を検討するということ

私は講義・演習問わず、唯一の正解のない問題を検討することの重要性を学生に伝えるよう心がけています。私の専攻する刑法では、主に、犯罪とはどのような行為であり、それに対してどのような刑罰が科されるかを検討します。犯罪とは、社会において一般的に特に「悪い」と考えられている行為とおおむね一致しますが、他方で、「悪い」行為すべてに刑罰が科されるわけではありません。たとえば、借金を約束通りに返さないことは「悪い」ことですが、それだけでは犯罪とはなりません。このように、「悪い」行為の中から選り出された一定の行為のみが、犯罪として刑罰の対象となります。ここで重要なのが、この選び方には唯

一の正解がなく、時代によっても、国によっても異なっていることです。しかし、唯一の正解がないからといって、私たちはこの問題への回答の検討を放棄することはできません。なぜなら、実際に「悪い」行為が行われた場合には、ときには刑罰をもって、行為者に反省を促したり、また、その行為が禁止されていることを一般に示すことで、その更なる発生を防止したりする必要があるので。法学部での学習は、唯一の正解のない問題について、その時点で最良の回答を検討する試みにほかなりません。そして、このような試みは、学生のみならず、この先直面する様々な問題についても、行っていくかなければならないものなのです。



2022.12.4

2022年度南山大学・豊田工業大学連携講演会 「情報化社会におけることばの可能性と役割について 考える～人工知能のことばと、人間のことば～」

12月4日、2022年度南山大学・豊田工業大学連携講演会「情報化社会におけることばの可能性と役割について考える～人工知能のことばと、人間のことば～」を開催しました。豊田工業大学からは、工学部・三輪誠准教授が「ことばの分かる人工知能を目指して」、本学からは、人文学部・和泉悠准教授が「情報化社会における攻撃的言語使用」と題し、それぞれ講演を行いました。

南山大学と豊田工業大学との連携講演会は、両大学の連携と成果を広く社会に周知することで社会的な認知度をあげるとともに、地域一般の教養啓発をはかることを目的に行っており、今回で17回目の開催となりました。



▲講演会の様子



▲本学・和泉准教授

2022.12.16

降誕祭

12月16日、第33回降誕祭を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策として人数制限を設けながら、クリスマス聖式一感謝の祈り、クリスマスパーティーを開催しました。



▲神言神学院大聖堂で開催されたクリスマス聖式

2022.12.20

カトリック系高等学校との高大連携に関する協定締結式

12月20日、海星高等学校、セントヨゼフ女子学園高等学校、聖マリア女学院高等学校、静岡サレジオ高等学校の4校と高大連携に関する協定締結式を行いました。この協定は、本学と各高等学校とが共有するキリスト教世界観に基づく学校教育を行い、幅広い教養と高い専門性を持った、国際社会におけるリーダーとなり得る優秀な人材を育成することを目的としています。協定締結校において、宗教またはキリスト教に対する知識を深めることを目的とした教育的取組や、生徒の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高め、本学が求める学生像および教育内容への理解を深めることを目的とした教育的取組を実施します。



▲海星高等学校



▲セントヨゼフ女子学園高等学校



▲聖マリア女学院高等学校



▲静岡サレジオ高等学校

2022.12.21

「大学の世界展開力強化事業(米国)」 NU-COIL総括シンポジウムを開催

本事業では2018年度より、本学と深い交流を持つ米国連携校や地元の企業・団体・官公庁とのCOILを活用した教育連携を通じて、世界規模の課題解決に貢献できるグローバル人材を育成する教育プログラムを実践してきました。最終年度となる今年度は、12月21日に「COIL型教育を活用した新たな教育的取組や展開、将来の連携の在り方」と題したシンポジウムを開催し、米国連携校関係者とのパネルディスカッションや日米の参加学生の発表を通じて5年間の取組と成果を振り返り、さらなる発展に向けた教育連携の在り方を議論しました。本シンポジウムには、国内外の22大学・機関から50名を超える参加があり、活発な質疑応答が展開されました。



▲NU-COIL総括シンポジウム参加の皆様

2022.12.21

2022年度防災訓練

12月21日、2022年度防災訓練を実施しました。授業直後に緊急地震速報のテスト放送を行い、地震に備えて1分間シェイクアウトを行いました。その後、学生消防団南山大学分団の協力のもと、火災発生を想定し、N・第2研究室棟およびグリーンエリアにおいて火災対応訓練を実施しました。



▲訓練の様子

2023.1.10

2023年春学期 外国人留学生別科入学式

1月10日、名古屋キャンパスのフラッテンホールで、外国人留学生別科の入学式を執り行い、15の国と地域から85名の新入生を迎えました。これから日本の文化と日本語を学ぶ留学生のみなさんにキサラ学長より激励の挨拶がありました。



▲入学式の様子

理工学研究科機械電子制御工学専攻の学生と理工学部の学生が、The 19th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (IEEE TOWERS)で賞を受賞

11月26日に東京農工大学 小金井キャンパスにて開催されたThe 19th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (IEEE TOWERS)で、梅比良・奥村・藤井研究室所属の理工学研究科機械電子制御工学専攻博士前期課程1年伊藤恒輝さんがIEEE TOWERS Breakthrough Innovation Award、理工学部機械電子制御工学科3年阿部瑚南さんがIEEE TOWERS RICOH Awardを受賞しました。

伊藤さんは、「学術研究から新規事業へ」というテーマのグループワークイベントで、優秀なプレゼンテーションが評価され、IEEE TOWERS Breakthrough Innovation Awardが授与されました。

阿部さんは「VRを使用したサッカーのポジション学習」をテーマに発表し、優秀なプレゼンテーションが評価され、IEEE TOWERS RICOH Awardが授与されました。



▲伊藤恒輝さん



▲左: 研究を指導した飯田先生
右: 阿部瑚南さん

外国語学部の学生が「第39回NHK全国大学放送コンテスト」アナウンス部門で優勝

外国語学部フランス学科2年蟹江菜々美さんが、12月3日に京都で開催された「第39回NHK全国大学放送コンテスト」アナウンス部門にて優勝しました。このコンテ

ストは、各大学・短期大学の日頃の放送活動・制作活動の成果を発表する場で、学生による、学生のための大会です。



▲蟹江菜々美さん



▲賞状と盾 (※名古屋大学のサークルに所属しているため大学名が名古屋大学となっております)

経営学部川北ゼミの学生が「Sカレ2022」冬カンで、プラン優勝・学生賞・印刷部門1位の三冠を獲得

経営学部川北ゼミ3年生の学生3名が、障がいの有無に関係なく誰でも平等に遊べる・楽しめるカードゲームとして『タッチャレ』を開発。12月10日に開催された「Sカレ2022」冬カン(大会)でプラン優勝・学生賞・印刷部門1位の三冠を獲得しました。

※Sカレ(Student Innovation College)は、31大学

36ゼミ531名の3年生が、ゼミ対抗で8テーマに分かれ、それぞれの商品化を目指すインターカレッジです。

『タッチャレ』は商品開発の過程で、視覚障がい者団体や盲学校の生徒にもご協力いただき、実際に体験した際のご意見をもとに改良・改善したことが評価され、商品化が決定しました。



▲プラン優勝受賞
(左から:中山絵里加さん、市川雄大さん、田中なつ子さん)



▲タッチャレ



▲実際に遊んでいる様子

経営学部安藤ゼミの学生が「産学連携ビジネスコンペティション2022」で1位と2位を受賞

12月10日、Modis株式会社主催「産学連携ビジネスコンペティション2022」が開催されました。8大学28チーム参加の中で、経営学部3年安藤ゼミのチームDelphiniumが1位の大賞、チームライチが2位の審査員特別賞を受賞しました。

チームDelphiniumは「学生のボランティア活動と企業の活性化」をテーマに、チームライチは「障がい児向けの遊びのサブスクリプション」をテーマに発表しました。



▲チームDelphinium
(左から:山口桃佳さん、立松未悠さん、兒玉実桜さん ※本郷紀奈子さん留学で不在)



▲チームライチ
(左から:増田優花さん、亀井遥加さん、喜田日陽里さん)

教員と学生が愛知信用金庫と愛知県警と連携し、特殊詐欺防止の錯視シートを考案

多発する特殊詐欺被害を防止するため、愛知信用金庫と愛知県警と連携し、人文学部心理人間学科の土屋耕治准教授、コアグループ 南山大学SDGs普及啓発団体CLOVERと学生有志団体 Nanzan AIDの学生が、心理学的知見と学生の視点からのアイデアを取り

入れた錯視シート(目の錯覚を使って平面の絵が立体的に見える技術を用いた床用シート)を考案しました。

錯視シートはATMコーナーの床に設置し、飛び出た警告文で防犯啓発と被害の水際阻止を図ります。



▲前列左:土屋准教授、前列右から:本田さん、高田さん、清水さん



▲設置された錯視シート

人類学研究所の中川朋美博士研究員が「科学技術への顕著な貢献2022 (ナイスステップな研究者)」に選定

人類学研究所の中川朋美博士研究員が、「考古学からみる過去と未来-3Dデータの構築と活用-」に関する研究業績が評価され、「科学技術への顕著な貢献2022 (ナイスステップな研究者)」に選定されました。

最近の活躍が目される研究者を対象に、研究実績に加えて、自然科学と人文学・社会科学との融合等の新興・

融合領域を含めた最先端・画期的な研究内容、産学連携・イノベーション、国際的な研究活動の展開等の観点から選定が行われました。

1月17日には、文部科学大臣へ表敬訪問をしました。学術全体や若手が抱える課題、今後の学術の在り方について意見交換が行われました。



▲意見交換の様子



▲左: 中川朋美博士研究員
右: 科学技術・学術政策研究所 佐伯浩治所長

キャリア支援課
プログラム紹介

第9回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会

12月3日、「第9回南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会」を実施しました。2020年度より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで開催しております。本年も、東海地方以外にも多くのキャリア・アドバイザーの皆様(本学卒業生)にご協力いただくことができました。参加した1~3年生の学生は、幅広い世代の様々なキャリアを持った先輩方の話に熱心に耳を傾け、積極的に質問していました。今後も南山大学から社会で活躍できる人材を多く輩出できるよう、卒業生と在学生とのネットワーク構築・強化を目指して、このような機会を設けていく予定です。

キャリア・アドバイザーとは

南山大学では、在学生のキャリア支援・就職支援のさらなる充実を図るため、社会でご活躍されている卒業生の皆様にキャリア・アドバイザー登録をお願いしています。

キャリア・アドバイザーにご登録いただいた皆様には、本学主催の各種プログラムへのご参加や個別相談を通じて、在学生にアドバイスをお願いしています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

キャリア・アドバイザー登録フォーム:

https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/career/ca_reg



2023年度 南山エクステンション・カレッジ
学生向け特別講座

南山エクステンション・カレッジでは、将来につながる、南山生のためだけの特別講座を開講します。

講座名/開講期間(補講日含む)	講座開講曜日	申込期間
公務員試験対策講座(総合コース) 2023年5月13日(土)~2024年1月10日(水)	水・土	2023年3月13日(月)~4月20日(木)
公務員試験対策講座(教養コース) 2023年5月13日(土)~2024年1月6日(土)	土	
宅地建物取引士資格試験対策講座 2023年5月10日(水)~10月11日(水)	水・土	2023年3月13日(月)~5月25日(木)
エアライン就職対策講座 2023年6月10日(土)~8月5日(土)	土	
簿記検定試験・会計士対策講座 2023年7月31日(月)~2024年1月20日(土)	簿記 月・水・金 (一部土)	2023年3月13日(月)~7月13日(木)
	会計士 水・土	2023年3月13日(月)~9月21日(木)
教員採用試験対策講座 2024年2月14日(水)~2024年3月6日(水)	水	2023年12月4日(月)~2024年1月18日(木)

この他、南山エクステンション・カレッジ公開講座では、資格を取得したい、スキルアップを図りたいなどの意欲がある学生に向けて「日商簿記3級検定試験対策講座」、「3級ファイナンシャルプランニング技能士検定試験対策講座」などを開講します(有料)。詳細は南山エクステンション・カレッジのWebページをご覧ください。

<https://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>

[申込み・問い合わせ先]

南山エクステンション・カレッジ事務局 (R棟7階)

E-mail: extension-s@nanzan-u.ac.jp Phone: 052-833-6957



2022年度 学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】15名

学生氏名	所属名	対象となる活動
南野 晃範	弓道部男子	第66回東海学生弓道秋季リーグ戦 男子個人 個人十傑優勝/第68回東西学生弓道選抜対抗試合 準優勝
YUAN Meng	弓道部女子	第66回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子個人 個人十傑 第5位入賞
山田 琴葉	弓道部女子	第66回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子個人 個人十傑 第9位入賞
西古 羽那	弓道部女子	第65回東海学生弓道選手権大会 第3位
永井 洋斗	水泳部	第98回日本学生選手権水泳競技大会 200m背泳ぎ予選 43位/100m背泳ぎ予選 65位
進 蒼生	水泳部	第98回日本学生選手権水泳競技大会 100m 平泳ぎ予選 77位
多田 智春	ラクロス部女子	第30回東海学生ラクロスリーグ戦 最優秀選手賞
青井 拓海	陸上競技部	第49回東海学生陸上競技秋季選手権大会 100m 3位/ 秩父宮賜杯 第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会 100m 西日本インカレ出場
伊藤 優真	陸上競技部	第49回東海学生陸上競技秋季選手権大会 110mH 2位
橋本 平良	陸上競技部	第54回全日本大学駅伝対校選手権大会 東海学連選抜チーム選考レース 6位(選抜に選出)
澤田 雄介	アメリカンフットボール部	東海学生秋季リーグ戦 東海学生リーグ優秀ディフェンシブ/東海最優秀選手ベストイレブン選出(2年連続)
仙石 彩音	バドミントン部	第62回西日本学生バドミントン選手権大会 ダブルス ベスト32(全国大会出場)
高橋 咲妃	バドミントン部	第62回西日本学生バドミントン選手権大会 ダブルスベスト32(全国大会出場)/ 第71回中部大会・第70回中部学生バドミントン選手権大会 シングルス 5位(全国大会出場)
松浦 歩高	バドミントン部	第136回東海大学・第44回東海学生新人バドミントン選手権大会 シングルス 3位
泉谷真里奈	フィギュアスケート部	第16回西日本学生フィギュアスケート選手権 女子4級クラス 2位/ 第95回日本学生氷上競技選手権大会 女子4級クラス 6位

【団体】9団体

団体名	対象となる活動
弓道部女子	第66回東海学生弓道秋季リーグ戦女子部リーグ戦山部リーグ 優勝(入替戦勝利 11部昇格) / 第66回東海学生弓道秋季リーグ戦女子部リーグ戦 4位入賞(令和5年度全国学生弓道選抜大会の出場権を獲得)
水泳部	第98回日本学生選手権水泳競技大会 4x100m メドレーリレー41位
ラクロス部女子	第30回東海学生ラクロスリーグ戦 1部リーグ 優勝/第13回全日本学生ラクロス選手権大会 全国ベスト4
漕艇部	第49回全日本大学選手権大会 男子ダブルスカル 16位
ラクロス部男子	第30回東海学生ラクロスリーグ戦 準優勝
経営学部 安藤ゼミ (チーム Delphinium, チーム ライチ)	産学連携ビジネスコンペティション2022(Modis株式会社主催)大賞(1位)、2位
経営学部 川北ゼミ	第17回Sカレ(Student Innovation College)2022 優勝/学生賞/プラン1位/テーマ1位 大学SDGs ACTION! AWARDS 2022(朝日新聞社主催)ファイナリスト賞
陸上競技部	第49回東海学生陸上競技秋季選手権大会 4x100mR 3位、4x400mR 2位
バドミントン部	第135回東海大学・第70回東海学生バドミントン選手権大会 女子団体1部 準優勝/ 第136回東海大学・第44回東海学生新人バドミントン選手権大会 男子団体2部 優勝(1部昇格)、女子団体1部 準優勝

学位

COCHRANE, Robert 講師

外国語学部

Doctor of Philosophy in E-Research and Technology Enhanced Learning

The University of Lancaster, U.K.

2022年3月21日付

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

近藤宏恵様 角 敬太様 匿名ご希望者
伊藤陽子様 田村誠久様 3名様

「新型コロナウイルス対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

酒井得郎様 匿名ご希望者
4名様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

丹村行孝様 菅沼貴子様 杉浦友彦様
利光一浩様 山田貴将様 岩井千津子様
沖 英子様 小林徳子様 西田恒隆様
樋口もも子様 稲澤由以様 成田栄寿様
酒井得郎様 岩田行生様 匿名ご希望者
10名様

竹田印刷株式会社 木全幸治様

グループトレーニング研究会様

「南山大学博士後期課程奨学支援募金」へのご協力に
感謝いたします。

匿名ご希望者
2名様

本学名誉教授 黒田清彦氏
がご逝去

本学名誉教授の黒田清彦氏(77歳)が、
2022年11月19日にご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。

本学名誉教授 玉崎孫治氏
がご逝去

本学名誉教授の玉崎孫治氏(83歳)が、
2022年12月6日にご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。

本学名誉教授 三上茂氏
がご逝去

本学名誉教授の三上茂氏(87歳)が、
2022年12月23日にご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。

本学名誉教授 山田隆治氏
がご逝去

本学名誉教授の山田隆治氏(93歳)が、
2023年1月1日にご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。

